

住人十色

第
180
回



◎思い出の写真と一緒に。車の運転をやめた現在は、シニアカーで近所の撮影に行くそう。

地域の伝統も、友人との思い出も、 カメラ歴60年の歩みが一冊に

藤岡 ^{みちまさ}道正さん(90) = 中通り =

11月3日の「小田の郷ふるさとまつり」で、内子町文化協会小田支部の作品展に写真28点を展示した藤岡道正さん。同協会で30年以上活動するベテランです。作品は主に自然の風景。藤岡さんは「退職後は早朝の小田深山、霧がかった石鎚山が撮りたいと言っでは、カメラを担いでどこへでも行った」と振り返ります。

藤岡さんは展示を始めた頃から「地元の大イベントを残しておきたい」と、寺村山の神火祭りのフォトコンテストを企画。平成2年から令和元年までの入賞作品などを収めたDVDも、保存会の協力で完成しました。「今年のふるさとまつりで上映したら、高校生らがすごい」と感心してくれた」と喜びます。また友人との旅行の写真や、大好きな山の写真も冊子にまとめ、「これで数十年分の仕事が一度に分かる」と笑顔を見せます。

今もカメラに触れない日はないという藤岡さん。撮りためた写真を見返し「いいのを選んでプリントに出す。写真屋に連れて行ってくれる娘に、枚数が多くて時間がかかる、と怒られるけれど」と笑います。「撮るだけでなく思い出も楽しめるのがいい。次は昭和の頃の写真を大きく伸ばして、展示会をしたいね」と語りました。

編集 幸記

▽今年は文化祭の日程が重なり、取材は大忙しでした。前日までの雨で実施できなかった催しもありましたが、地区ごとにいろいろな出し物があり楽しかったです。地域の皆さんも笑顔で頑張っているのが印象的でした。お疲れ様でした(史)

▽町公式LINEの運用開始から2か月が経ち、1000人以上に友だち登録をいただいています。ごみ収集のお知らせ通知にいつも助けられている私。年末の大掃除に向けて、皆さんも受信設定をお忘れなく！(花)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

